

『第2回富山駅周辺整備事業推進協議会』 会議概要

日 時：平成19年2月20日（水） 13：30～

場 所：富山国際会議場 203・204 多目的会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

1) 「第1回富山駅周辺整備事業推進協議会の要旨について」〔資料-1〕

2) 「富山駅周辺街区の土地利用計画検討」〔資料-2〕

3) 「富山駅交通広場の交通計画検討」〔資料-3〕

4) その他

3 閉 会

[出席委員]

黒川委員、森委員、中川委員、江幡委員（荻澤委員の代理）、埴生委員、野委員（松山委員の代理）、金山委員、杉岡委員、川岸委員、八嶋委員、白倉委員、東畑委員、徳道委員、開口委員、笠原委員

議 事

1) 「第1回富山駅周辺整備事業推進協議会の要旨について」

【事務局】（資料説明 資料-1）

2) 「富山駅周辺街区の土地利用計画検討」

【事務局】（資料説明 資料-2）

【座長】 商業・宿泊施設・観光等についてももう少し具体的な表現はできないのか。

【事務局】 商業やオフィス等について次回以降に検討を深めていきたい。

【委員】 開発余地の用途など、どこまでこの協議会で議論を行っていくのか。

景観の中で、最低高さの設定が必要とあったが、なぜ必要なのか。

県・市で富山駅周辺の景観デザインを検討しており、それぞれの役割分担が必要ではないか。

【事務局】 駅周辺にどの程度の開発余地があるかを図示したもので、すべてを開発するという意味ではない。個別街区ごとの開発計画ではなく、どのような開発、機能が駅周辺に求められているのかをまとめていきたい。

駅南は既に土地利用が進んでおり、将来的にこの景観を改善していくには、最高高さの規制よりも、最低高さを規制することで、低層の建物が立地する事などを規制する様な検討を進めていきたい。

駅舎を含めたデザインの検討委員会とは、連携をとって進めていく。

【委員】 屋外広告物の規制誘導は急いだ方が良い。

「導入が考えられる施設」で、観光・物産案内施設に「 」が付いているが、利用者が少ない事例もあり、民間の視点を入れ、提供したい側の情報ではなく、提供して欲しい側の要望を満たす施設が必要になる。

「駐車施設」について通勤通学の項目が「 」になっているが、駅周辺の駐車施設は通勤通学利用がメインではないのではないかと。

【事務局】 駅周辺ではコンサートホール等の施設利用に一定程度の駐車場が必要である。ビジネスや観光目的の新幹線利用客にも一定程度の駐車場が必要である。通勤通学に「 」を付けているのは修正する。

観光物産については、中身の検討を進めていきたい。

【委員】 旅行会社と契約しているホテルが富山では2割程度で、金沢では5割以上である。全国的に誘致を広げないと富山に来訪者を呼ぶことは難しいと思う。

駅南側は新幹線が到着してメインになると思うので、観光バスバースを南口に確保してもらいたい。

【委員】 観光案内施設については、駅に近い方が良いと思う。

ホテルについては、ニーズがあれば民間開発があがってくると思う。

現在検討している区域外の道路で狭い箇所等があり、この協議会で議論する必要は無いが、並行して検討をして欲しい。

【委員】 商業・飲食は新幹線駅として必要であり、今後精度を上げて検討をして欲しい。また、富山ブランドを育て、紹介する方法も合わせて検討する必要がある。

金沢では外部資本のホテルが乱立気味であるが、富山ではホテルが必要だとは感じるが、種類や利用者の対象について精度を上げて検討して欲しい。

駅構内に観光案内所は必要で、金沢駅では金沢の文化を紹介するギャラリーも併設されており、上手くいっている。

現実的には車利用があり、金沢では駅周辺の駐車場で安い日割り料金が設定され非常に便利である。

金沢駅周辺の景観形成に地区計画が設定されているが、古い計画のため規制が非常にゆるく指導に苦勞しており、外部資本対策を含め少し強めの規制を早期に設ける必要があると思う。

土地の高度利用を進めるための最低高さの検討は必要だと思うが、結果としてバラバラの建物高さになる恐れもあり、最高高さについても検討しておくべきだと思う。

色彩については、金沢でも具体的に示しているが、グレー系など1つの色彩でも非常に多くの種類があるため、景観条例に従って調整を行う部会を設けて個別に指導している。

【委員】 金沢駅周辺でホテルの立地が相次いでいる理由を明確にしつつ、富山の場合で想定されるケースを深めて欲しい。

行政サービス・観光物産案内施設の課題で「他駅の事例を踏まえ」とあるが、どの様に運営するかには哲学が必要であり、比較論だけでなく方向性も示して欲しい。

なぜ商業関係施設が少ないのか、マーケットでどのようなニーズがあるのかを精査する事で、どのようなコンテンツが求められているのかが見えてくる。

景観については、地上から見る景観だけでなく、建物に入って見る立山の眺望についても売りにできるようにして欲しい。

3)「富山駅交通広場の交通計画検討」

【事務局】 (資料説明 資料-3)

【委員】 長距離の高速バスを北口に移転するようになっているが、インターチェンジが駅の南側にあるため、高速バスは南側に確保して欲しい。

南口のレイアウト案で、B・C・D案ではタクシーとバスが交錯することになる。A案は信号関係の問題があるがこの方向でお願いしたい。

北口では、観光・送迎・路線バスが混雑するため、どのように整理するのか、別の考え方があっても良い。

【事務局】 高速バスについては、駅南には金沢や新潟などの比較的距離が短い路線で、距離の長い路線については北口を考えている。駅前広場整備のコンセプトとして、できるだけ歩行者空間を多く確保し、タクシーやバスを効率的にレイアウトするよう考えている。

ICは南側にあるが、東京行きのバスなど乗客が多い場合は、複数台で並んで発車する形態から、スペース上の制約もあり、北口に整理している。

現状ではタクシーとバスが分離しているが、全国的に見た場合、同程度の規模の駅前で、必ずしもバスとタクシーを分離して確保しているわけではない。

北口の企業送迎バスや貸切バスなどについては、別の整理が必要だと思う。

【委員】 タクシープールについて、待ち時間が長く待機スペースも多いと指摘されているが、利用者を待たせないように運行している。タクシーがいなく、利用者から苦情を受けるようでは非常に困る。

タクシーの需要推計を在来線の利用実態から算定しているが、新幹線が開通すれば空港からの転換もあると思う。

駅前プールが今回は16台となっている理由は。

遠隔地プールについて、4分以内で入庫できるとあるが、プールの場所にもよるが、一般車交通との混雑や信号待ちなどのため相当混雑することも予想され、利用者を駅で待たせてしまうことが心配だ。

コンパクトな交通空間は理解できるが、ショットガン方式を行う場合、タクシーの専用・優先道路を確保して、スムーズに駅にまわれる工夫が必要だと思う。

【事務局】 駅前のプール台数については、今回改めて将来の新幹線乗降客数を考慮してピーク1時間でどの程度タクシー利用者がいるか、西口から駅前までの信号処理も含めてシミュレーションを行って算定した数字である。

【座長】 ピーク1時間あたりではなく、新幹線1本あたりのタクシー利用者を想定する必要があるのではないか。

【委員】 タクシーは南と北に分けているが、西口の方が利用者にとっては、悪天候にも影響されず、タクシー事業者にとっても、南と北の分散ではなく西口に集約されて、一番利便性が高いのではないか。

【事務局】 一般車利用をどこに確保するかを考える際に、西口に乗降バスと駐車場を確保する事とした。ここにさらにタクシー乗降機能を設けるのは厳しいと思う。

【委員】 降車だけでも西口の高架下の方が良いのではないか。タクシーも降車した後

にすぐに遠隔地プールに行けるのではないか。

高速バスは運行が時間帯で分散しており、発着時間を調整することで、バースを増やさなくても南に一元化できないのか。

タクシーについては、参考資料にもあるように新しい技術もあり、増やす余地を確保した上で、最低限の台数を確保するという考えが良いのではないか。

【 委 員 】 タクシーの乗車が2バースとされているが、観光利用でジャンボタクシー等の需要もあり、乗降スペースを増やせる計画をして欲しい。

【 座 長 】 富山駅の交通広場の交通計画となっているが、駅前広場を交通広場として使うのか、または、歩行者のための空間など、交通だけでない機能をこの空間に確保するのかについて、もう少し整理した方が良い。

富山が日本の中でも違う視点、形で、ITSなどを活用して先進事例として整備する事も必要だと思う。こういった駅前広場にしたいということを十分に議論してもらいたい。

【 委 員 】 基本は利用者の立場であり、海外では交通事業者の動線はしっかり計画されているが、利用者は上下移動を強いられているケースと、利用者の利便性が確保されており、交通事業者が少し苦労しないといけない2通りがある。

需要の前提としてトレンドを基に推計しているが、北口はこれから発展する可能性もあり配慮が必要である。高速バスも新幹線開通後の運行形態についての配慮が必要である。

需要の前提と、どのようなまちづくりを行うのかについて整理して欲しい。

4) その他

【 事 務 局 】 (資料説明 資料-4)

【 座 長 】 「駅及び駅周辺施設利用者」については、ヒアリング調査を行うのか

【 事 務 局 】 「駅及び駅周辺施設利用者」へ直接ヒアリングも考えており、調査項目をある程度絞った上で実施したい。

【 委 員 】 問4で来訪理由があるが、来訪者によって来訪頻度の差があるので、来訪頻度を聞く設問を加えた方が良いのではないか。

【 委 員 】 県内の方と県外の方で意見が異なると思うので、地域毎や県外からの視点などが分かるようなアンケートのとり方を行うのが良いのではないか。

【 座 長 】 アンケート調査を行うという事で、この調査の実施を了解していただけるか。

【 全 委 員 】 (異議なし)

【 座 長 】 他に何か意見はあるか。

【 委 員 】 トランジットモールについて、賑わいの創出を考えるのであれば、街の連続性が必要であり、駅前だけの短い距離だけでなく、中心市街地へ歩行者が自由に行き来できるような道路環境を検討して欲しい。

【 委 員 】 どのような機能や用途が必要か、望ましいかについて、量的な整理になっているが、今後土地利用の誘導方策や利用計画についても整理して欲しい。

【 事 務 局 】 次回の協議会日程については、詳細が決まり次第連絡する。

以 上